資料2-3

トキも人も育つまちへ
～トキの放鳥・野生復帰に向けた取組～



令和８年１１月１７日

島根県出雲市

出雲市におけるトキの放鳥及びモニタリング計画の進捗状況について

トキの放鳥計画

■放鳥時期　令和９年５月下旬～６月上旬

■放鳥方法　ソフトリリースとハードリリースの併用

■放鳥羽数　最大２０羽（能登地域における放鳥個体の定着状況を踏まえ、ソフトリリース１５羽程度、ハードリリース５羽程度を予定）

■放鳥場所　出雲市稗原地区

トキ野生復帰検討会委員による現地視察を実施

【ソフトリリース】

佐渡・能登地域での仮設ケージの仕様を踏襲し、寸法は能登地域より長辺を１サイズ（1.8m）大きく設計

【ハードリリース】

放鳥式スペース・障害物・トキ待機場所・駐車場・交通規制などを勘案し、稗原運動広場を放鳥式会場として選定



ケージ設置場所



稗原運動広場

出雲市におけるトキの放鳥及びモニタリング計画の進捗状況について

モニタリング計画

■モニタリングチーム　１０名程度（野鳥愛好家、鳥類専門家、市職員）

■設立時期（予定）　令和９年１月

■先進地視察（研修）　令和８年９月２９日～１０月２日
佐渡市におけるモニタリング方法の情報収集、モニタリング体験
※チームリーダー予定者・島根大学講師・市職員が参加

■目撃情報入力フォーム　現在作成中

■傷病個体等の対応　連絡窓口は、出雲市トキ分散飼育センターとし、県内で発見された場合は、市と県が連携して対応。一次救護は、県が指定する傷病野生鳥獣救護ドクターが行い、出雲市トキ分散飼育センターの空きスペースやソフトリリース用仮設ケージを利用し、保護飼養を行う。解剖検査が必要な場合は、県の家畜保健衛生所が実施

■その他　市と島根大学教育学部において、「トキの放鳥・野生復帰に係る調査研究等に関する協定書」を締結。放鳥後のトキの生息及び繁殖状況のモニタリング等を予定

ソフトリリース（案）について

■仮設ケージの概要（現在設計中）
・サイズ：幅21.6m×奥行き12.0m×高さ4.7m
・仕　様：くさび緊結式足場を躯体の基本とし、
　　衝突緩衝ネットを設置
　　とまり木・給餌施設を設置
・付帯施設：害獣侵入防止柵、監視カメラ　等

■搬入時期　記念式典日と同日

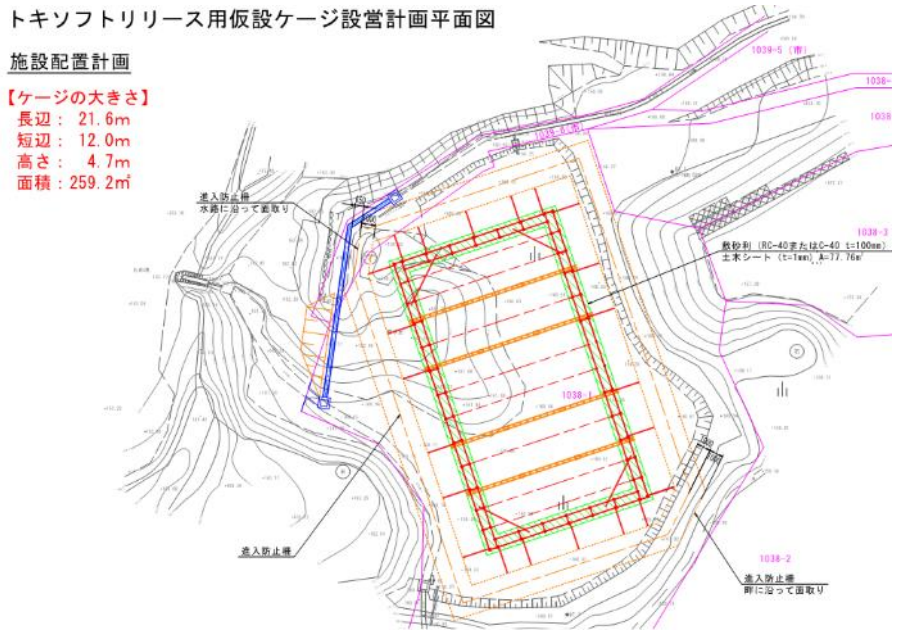
■搬入羽数　１５羽程度

■放鳥時期　搬入から２週間程度経過後

■環境整備
仮設ケージ周辺に餌場を重点整備中。地元住民で設立された「出雲トキ応援隊」が江の設置・草刈り等の維持管理などに取り組む

■その他
仮設ケージは複数年利用（３年継続）

【仮設ケージの設置イメージ】



設置場所	長さ	奥行き	高さ	面積	飼育羽数	飼育面積/羽
R9出雲 長辺のみ広いver	21.6m (19.2m)	12.0m (9.6m)	4.7m (3.0m)	259.2㎡ (184.32㎡)	15羽	12.29㎡
R9出雲 羽咋と同じver	19.8m (17.4m)	12.0m (9.6m)	3.6m (3.0m)	237.6㎡ (167.04㎡)	15羽	11.14㎡
R8羽咋	19.8m (17.4m)	12.0m (9.6m)	3.6m (3.0m)	237.6㎡ (167.04㎡)	10羽	16.70㎡
R6佐渡	19.8m (17.4m)	9.0m (6.6m)	3.6m (3.0m)	178.2㎡ (114.84㎡)	7羽	16.41㎡
H20佐渡	27.5m (25.0m)	11.0m (10.0m)	5.0m (3.0m)	302.5㎡ (250.0㎡)	20羽	12.50㎡

※表中（　）内は飼育空間の数値

トキ放鳥記念式典（案）について

■名　称　　島根県出雲市トキ放鳥記念式典及び放鳥式（仮称）
■主　催　　出雲市、環境省（実行委員会方式。島根県にも参画を依頼）
■式典開催日　令和９年５月下旬～６月上旬
■式典会場　　朱鷺会館（トキ分散飼育センター隣接施設）又は、稗原小学校屋内運動場


朱鷺会館


稗原小学校

■出席者　　３００人程度
国、島根県、出雲市、トキ野生復帰検討会委員、国内分散飼育地関係者など
■その他　　参加者は、会場までシャトルバスで移動
詳細は、能登地域での式典をベースに、環境省・県・市の３者で今後検討

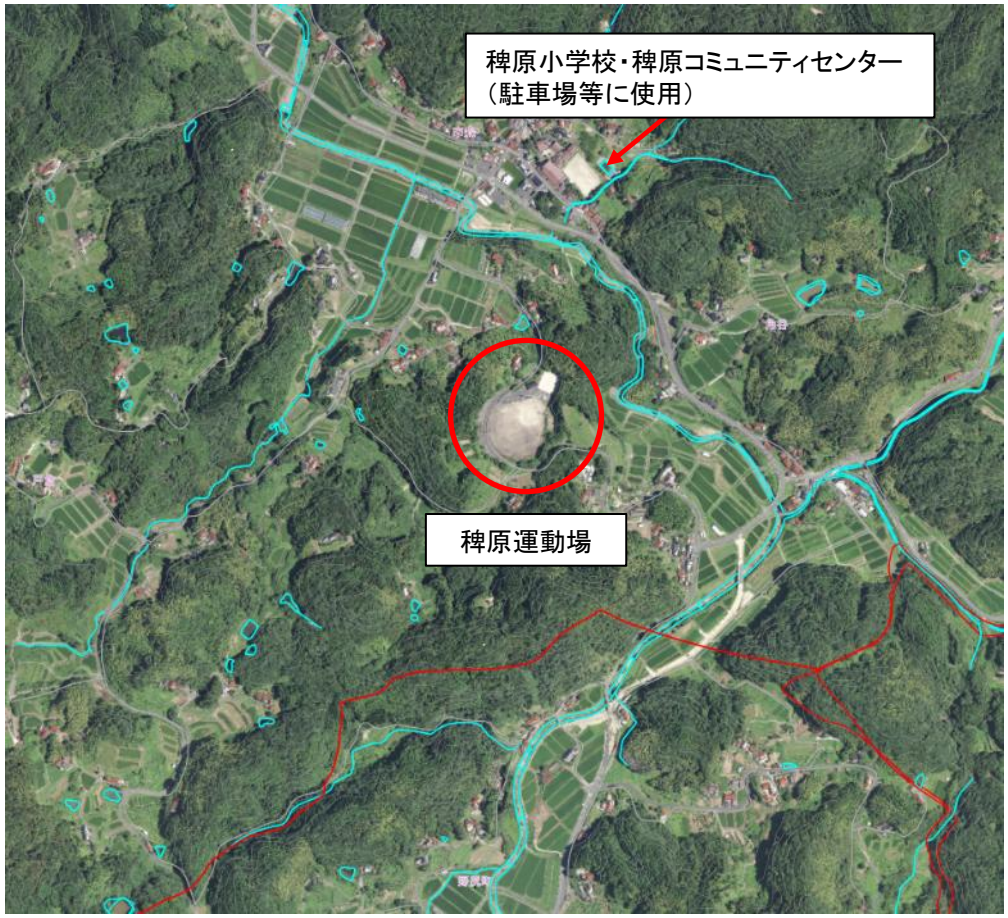




能登地域トキ放鳥記念式典の模様
写真提供：石川県

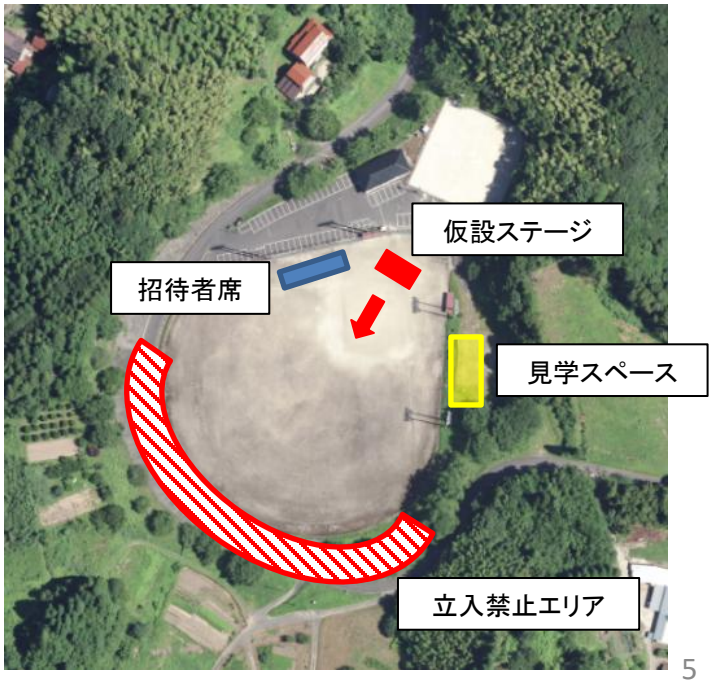
放鳥式（案）について

■放鳥式会場　稗原運動広場
■放鳥羽数　　５羽程度（ハードリリース）
■検討事項　　・仮設ステージ等の配置
　　・一般見学者の募集（抽選）





能登地域放鳥式の模様
写真提供：石川県



生息環境整備について

■トキ生息環境整備事業費補助金の新設

これまでの補助制度に加え、トキの餌となる生き物の増加につながる取組に対する補助制度を令和８年度に新設

①ビオトープの整備



②水田内土水路（江）の整備



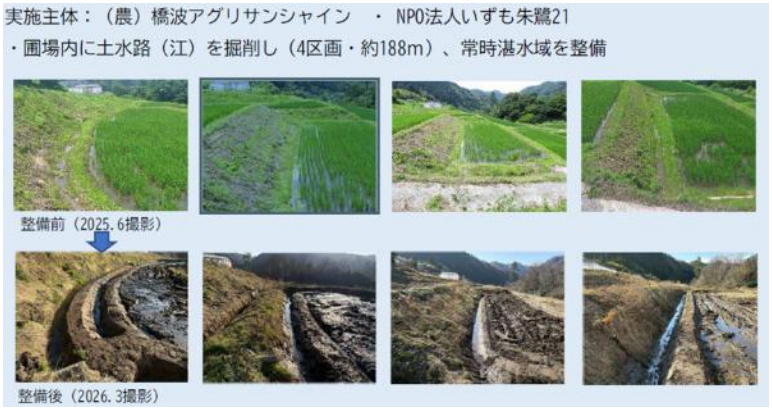
【補助金額】
上限20万円（補助率：10/10）

【補助対象者】
水田管理者（耕作者、所有者）

【整備予定箇所数】
15か所

■様々な団体と連携した生息環境整備

①公益財団法人日本鳥類保護連盟



②島根大学教育学部

【ドジョウの増殖手法に関する調査・研究業務】

目的　トキの安定的な定着を支える餌資源確保

内容

・出雲市稗原地内のビオトープの環境調査

・環境条件の異なる水槽を使用したドジョウの増殖試験・研究

生息環境整備について

■国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所　斐伊川水系水鳥プロジェクト（２県８市町）
　令和９年初夏のトキ放鳥にあわせ、令和８年度に斐伊川西代橋下流において、餌場となる人工水域を整備。また、次年度以降、河川を活用した大型水鳥の生息環境を整備予定

1．斐伊川河川敷公園周辺（出雲市）

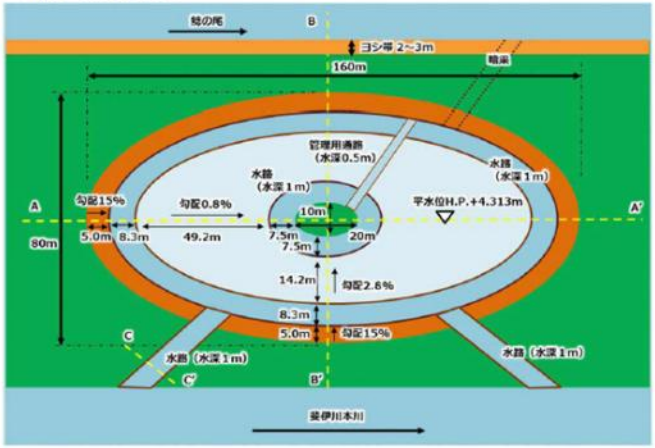
大型水鳥のねぐら･休息地となる自然裸地の再生を目指す事業の概要を提示。

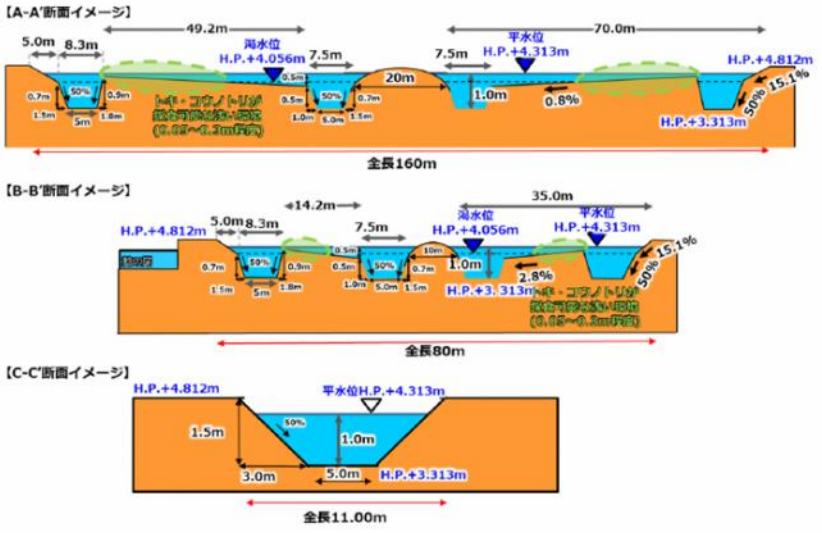




2．斐伊川西代橋下流（出雲市）

多様な生物が生息可能で、大型水鳥の採食地としても機能するワンド構造案を提示。





社会環境整備について

■様々な切り口・連携による情報発信

☑人気絵本作家　村上康成氏による
ワークショップ（8/9）・市長対談（8/10）






☑島根スサノオマジック（プロバスケットボール）
公式戦ゲームパートナー（5/2）



☑愛宕山公園
新たな近似種施設の整備（3/10）




☑ＪＡしまね
広報誌に毎月連載



☑出雲市トキ啓発映像制作
（日本鳥類保護連盟）

◆完成予定
令和８年１２月末

◆活用方法
市公式ＳＮＳによる配信、
学校の教材として活用

社会環境整備について

■企業や地域、学校・幼稚園における盛り上がり

☑出雲村田製作所・島根島津・島根富士通によるトキの授業



神戸川小学校
4年生（9/8）

☑地域伝統芸術（一式飾り）でトキをＰＲ



斐川直江祭り（7/18）

☑稗原小学校と羽咋市邑知小学校が交流開始 児童によるトキサークル設立



児童が自主的に「トキメキサークル」を設立

☑地元企業による トキのラッピング車両



足立運送

島根中央生コン

☑塩冶幼稚園トキの手形アート



手形で絵を作成
（9/3）

☑大津幼稚園　手作りのトキ凧



手作りのトキ
凧あげ（7/9）

社会環境整備について

■市公式ＳＮＳ登録者によるトキ認知度調査結果

	R5.8	R6.9	R7.8	R8.8
登録者数（延べ人数）	41,267人	44,836人	48,219人	50,156人
回答者数 （回答率）	642人 （1.56%）	737人 （1.64%）	1,376人 （2.85%）	1,113人 （2.22%）
出雲市分散飼育センターのトキを見たことがある	65.6%	68.4%	66.9%	70.6%
トキの放鳥候補地に選定されたことを知っている	55.0%	59.6%	67.2%	84.2% 29.2up
トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりに賛同する（賛同しない）	93.7% （0.9%）	91.1% （0.8%）	89.5% （1.4%）	88.6% （1.3%）
令和9年初夏の放鳥が決定したこと（R7までは目指していること）を知っている	―	29.5%	41.7%	69.5% 40.0up
いずもトキファンクラブを知っている	―	―	23.5%	31.2%

■無作為抽出によるアンケート調査　　令和８年１１月下旬実施予定
（大正大学と共同実施）